



TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2863回 例会
プログラム
地区国際奉仕委員会の活動
No.2693 2月27日(木)

次週以降の予定
3月6日(木) 軽音楽を楽しもう
3月13日(木) 自衛隊の活動について
3月20日(木) 円滑な事業承継

第2862回 例会報告

2014年 2月20日(木)

会長挨拶・報告

先週のプログラム



皆さんこんにちは。
本日も例会にご出席頂きありがとうございます。
このところ変わらず寒い日が続いています。テレビのニュース、天気情報などを見ますと日本列島全体に異常気象が起きてるようです。東京、千葉、埼玉など関東地方と山梨などでは百何年ぶりの大雪で、人命被害と交通の障害も多く出ています。私達の北海道もまだまだ油断できません。去年は3月上旬に毎年恒例のPETSが江別市でありましたがこの時は大荒れの天気でしたので、私達の空知、道央地方も4月までは注意、備えが必要と考えます。

一方、ソチ五輪もこの間始まったと思っていましたらもう終盤に入っています。メダルも金1個、銀4個、銅2個と合計7個獲得しています。時差の関係で深夜から未明の時間帯の放送が殆んどで寝不足の方も多いたと思いますが、もう少しですので頑張ってください。

本日の例会は会員増強委員会によります講話の例会で、後程橋本広行署長より「税金よもやま話」とのテーマで講話をいただきます。署長のお話をお聞きになって会員の皆様の納税額が少なくなるということは絶対にありませんが、よろしくお願致します。

幹事報告



- ①. 赤平RCより3月例会プログラム、留萌RCより会報が届いております。
- ②. 下期会費納入、お忘れの方はお早めに納めていただきます様、お願致します。

委員会報告

親睦委員会 山口 恵子 委員長

本日6時より木曜フォーラム、スナック「遙」で行います。

■会員増強委員会担当例会■

ーゲスト講話ー



会員増強委員会

川口 義弘 委員長

この春4月1日より、消費税が8%に上がります。本日は、こんな機会をとらえて日本の財政について考えて見ましようということで、滝川税務署長の橋本広行様の卓話をお聞きしたいと存じます。ここで橋本署長さんのご紹介を致します。

橋本広行署長さんは、留萌管内小平町の出身で、この度、目出度く還暦を迎えられたようであります。昭和48年、札幌国税局に採用後、東京国税局管内に6年間、その後は現在の財務省主計局で経産省、農水省、文化省、国交省などの国の予算編成等に長く携わった方でもあります。一昨年の夏に、40年振りに北海道勤務となり、滝川税務署長に就任されまして、今日に至っております。それでは、御講演を宜しくお願致します。

ー日本の財政についてー



滝川税務署長 橋本 広行 様

只今ご紹介頂きました、滝川税務署長の橋本でございます。川口さんのご紹介のように、還暦を迎え、来年の3月で定年です。今日は、時間も少ないのでパンフレットを使用しながら、簡単に日本の財政について話をしたいと存じます。

私は、3回目の移動の時に大蔵省(現・財務省)に配属され、主計局を担当致しました。当時の大蔵省は、全体で71,000人位おりました。その内、国税庁には55,000人位おりました。一番多い人数を抱えておりました。私が配属に成りました主計局は、380人位で司計課・法規課をやっておりました。今日は、税金の話でなく、日本の財政についてお話を致します。

1. 平成25年度(日本国)一般会計予算について

(1) 歳出について

平成25年度一般会計予算は約92.6兆円です。このうち歳出について見ると、国債の元利払いに充てられる費用(国債費)と地方交付税交付金等と社会保障関係費で、歳出全体の7割以上を占めています。

(2) 歳入について

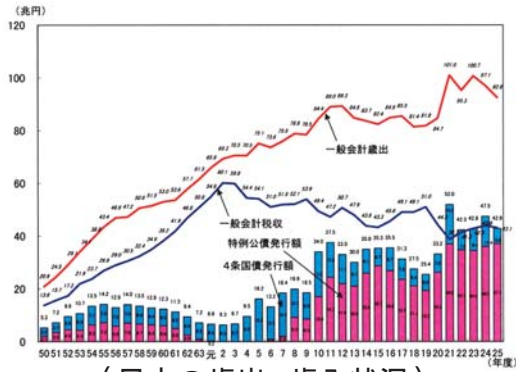
平成25年度一般会計予算における歳入のうち税収は約43兆円を見込んでいます。一般会計予算における歳入のうち、税収でまかなわれているのは5割に満たず、5割弱は将来世代の負担となる借金(公債金収入)に依存しています。

2. 我が国財政を家計にたとえたら

我が国を、月収30万円の家計にたとえると、一ヶ月当たり29万円の借金をして、毎月の家計を成り立たせていることになり、5,700万円強のローンを抱えていることになります。

3. 一般会計における歳出・歳入の状況

我が国財政は歳出が歳入(税収及びその他収入)を上回る状況が続いています。特に、平成20年度以降、景気悪化に伴う税収の減少等により歳出と歳入の差額が拡大し、平成21年度以降は公債発行額が税収を上回る年が多くなっています。平成25年度は当初予算ベースで見て4年ぶりに税収が公債金を上回っています。



(日本の歳出・歳入状況)

4. 公債残高の累増

我が国の公債残高は、年々増加の一途をたどっています。平成25年度末の公債残高は750兆円に上ると見込まれていますが、これは税収約17年分に相当し、将来世代に大きな負担を残すこととなります。

5. 公債残高の増加要因

特例公債の発行から脱却することのできた平成2年度以降の公債残高の累増について見てみると、歳出面では、90年代は公共事業関係費の増加が主要因でしたが、近年では高齢化の進行等に伴う社会保障関係費

の増加や地方財政の悪化に伴う財源不足の補てん(地方交付税交付金等)の増加が主要因となっています。また、歳入面では、景気の悪化や減税による税収の落ち込みが主要因となっています。

6. 国及び地方の長期債務残高

公債残高以外にも利払・償還財源が主として税財源によりまかなわれる長期債務があります。これらを国・地方の双方について集計した「国及び地方の長期債務残高」は、平成25年度末に977兆円(対GDP比201%)に達する見込みです。

7. 財政危機に陥った国の財政健全化策と国民生活への影響

ギリシャをはじめとした財政危機に陥ったGIIPS諸国(アイルランド・ポルトガル・スペイン)では、年金・医療の大幅な給付カットや負担増など、厳しい措置が行われています。

8. 財政赤字の問題点

財政赤字が拡大し、債務残高が増大した場合、国債費の増加による政策の自由度の減少、世代間の不公平の拡大など、様々な要因を通じて、自国内の経済・財政・国民生活に重大な影響を与えると同時に、世界経済にも悪影響を及ぼすおそれがあります。

いずれに致しましても、我が国は税収を上げると共に、国民年金の加入率を上げる事、出来るだけ社会保障関連をカットしないようにする政策が必要であります。ご静聴ありがとうございました。



中垣 陽一 会員

橋本税務署長様、講話いただき有り難うございました。

米倉 慎一 会員

来週、国際奉仕委員会担当例会ですが、所用の為上京しており欠席致します。大変申し訳ありません。当日は、当委員会の神部会員に託しておりますので、ご安心して多数出席をお願いします。

川口 義弘 会員

担当例会を終えて、橋本署長様有り難うございました。

会長/中垣 陽一
幹事/鈴木 英光
編集/クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30
例会場●ホテルスエヒロ
事務局●ホテルスエヒロ 7F
〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16
TEL(0125)22-3344
FAX(0125)24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。